土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託（梅木川支川）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.4	**調査位置**	広島県呉市大山町地内			**北緯**	34° 16′ 34.7353″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2020年 3月 7日 ～ 2020年 3月 10日	**東経**	132° 31′ 31.5919″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 87.33m	**角度**	180°, 上下, 90°, 0°, 0°	**方位**	北 0°, 90° 東, 180° 南, 270° 西	**地盤勾配**	水平0°, 鉛直 90°, 41°
総削孔長	9.00m					**使用機種**	

試錐機	YBM-05D				
エンジン	ヤンマーNFD-7	**ポンプ**	TAP-150		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3 4				玉石混じり砂礫		褐灰～褐	rd2		新生代第四紀	L=7.5～25cmの玉石，φ5～70mmの亜角礫～角礫を20～70%混入。基質はシルトを混入する極粗粒砂～中礫で，含水は小である。基質は深度1.75m以浅では未固結状だが，それ以深では半固結状となりシルトの混入量が多くなる。	03/07 1.80 ▽ 03/10 3.25 03/09 ▽
5	82.33	5.00		風化花崗岩		褐灰～灰			中生代白亜紀	ハンマー軽打で濁音～鈍い金属音。概ね密着するネットワーク状の亀裂が発達。片～短柱状コアだが，ハンマー打撃で礫～片状となる。岩石組織は明瞭だが，上部は岩芯までやや褐色化。下部は亀裂沿いの幅2～4cmが褐色化している。CL級岩盤。局所的に硬質な短柱状主体部を挟む。	
6 7	80.43	6.90		花崗岩		灰				ハンマー軽打で金属音し反発する短柱状コア主体。局所的に亀裂沿いが片状となる。亀裂沿いのみが褐色化する。CM級岩盤。	
8 9	78.33	9.00									

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15	1	3	3	7/300		
	1.45						
5	2.15	2	2	1	5/300		
	2.45		120	80			
16	3.15	5	4	7	16/300		
	3.45						
14	4.15	6	4	4	14/300		
	4.45	50			50		
500	5.00	30			30	30	
	5.03						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						
	8.00	貫入不能			50/0		
	8.00						
	9.00	貫入不能			50/0		
	9.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					3/7
					3/9
					3/10